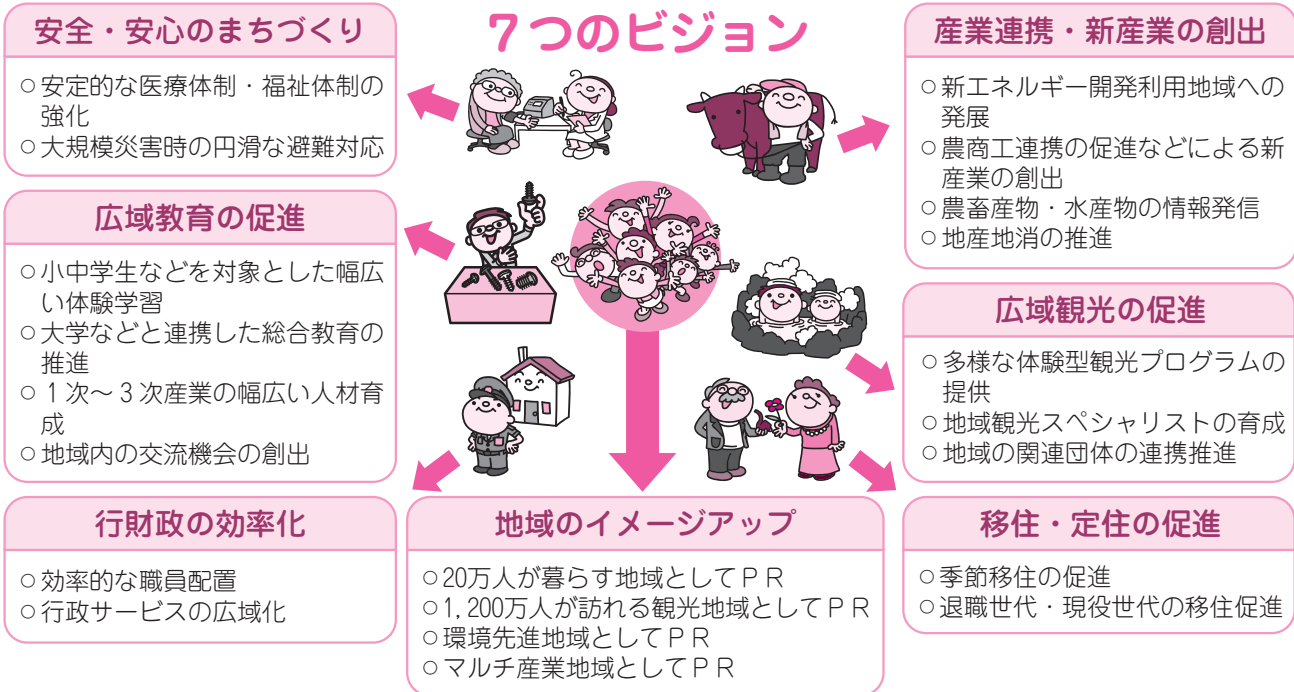


『西胆振地域づくりビジョン』に描くまちづくり

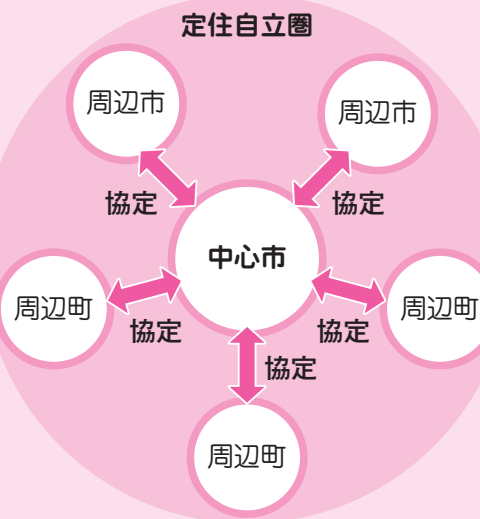
『西胆振地域づくりビジョン』は、西いぶり広域連合において『西胆振は一つ』の認識のもと、3市3町の特性を生かし、どのようなまちづくりが可能であるかなど、西胆振圏域の将来の発展につながるまちづくりのあり方を考えるために作成したものです。

ビジョンでは、地域づくりの形として、今の市や町の枠組みを残しながら広域的な連携を図る『市町連携』、『広域連合』、『定住自立圏』のほかに『合併』などの方法を示すとともに、地域の特性や強みを生かしたまちづくりの可能性を『7つのビジョン』で示しています。



『西胆振地域づくりビジョン』は、市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、図書館で閲覧できるほか、ホームページ (<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/plan/k-renkei/nishi-tiikivision.htm>) からご覧になれます。

定住自立圏構想のイメージ



※具体的な連携内容は、6月に西いぶり広域連合に設置した『西胆振地域定住自立圏構想検討会議』で検討を進めています。

問い合わせ
企画グループ (☎85 1122)

『定住自立圏構想』とは

『定住自立圏構想』とは、圏域の核となる人口5万人程度以上で昼夜間人口比率が1以上の『中心市』が周辺の市町村と協定を結び、それぞれの役割分担や連携を図りながら、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を確保することで地域の魅力を高め、定住自立を促し、人口の流出を防ぐことをねらいと

した国（総務省）が提唱する新たな広域連携の取り組みです。西胆振圏域では、圏域の核となる『中心市』の要件を満たしている室蘭市が、12月をめどに中心市宣言をする予定です。今後は、室蘭市と周辺市町である登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町が、医療や福祉、産業、観光などでの連携について検討し、皆さんからご意見をお聞きしながら、協定の実施を含めた協議を行います。